

羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会

まちづくり分科会（案）

1. 設置趣旨

羽田空港跡地と川崎市殿町地区間を結ぶ連絡道路の整備、国道 357 号多摩川トンネルの整備の実現等に向け、主に周辺のまちづくりと一体となった戦略的な都市・交通インフラ整備、国際競争力向上のための土地利用に関する具体策を検討する。

2. 構成員

座長	望月 明彦	(国土交通省大臣官房技術審議官)
副座長	伊藤 明子	(内閣官房地域活性化統合事務局次長)
委員	鹿野 正人	(内閣官房地域活性化統合事務局参事官)
	天河 宏文	(国土交通省都市局まちづくり推進課長)
	榊 真一	(国土交通省都市局都市計画課長)
	武政 功	(国土交通省都市局市街地整備課長)
	清水 喜代志	(国土交通省都市局街路交通施設課長)
	塚原 浩一	(国土交通省水管理・国土保全局河川計画課長)
	石川 雄一	(国土交通省道路局企画課長)
	五十嵐 徹人	(国土交通省鉄道局都市鉄道政策課長)
	宮崎 祥一	(国土交通省港湾局計画課長)
	和田 浩一	(国土交通省航空局首都圏空港課長)
	高山 昇	(関東財務局管財第 2 部長)
	後藤 貞二	(関東地方整備局道路部長)
	佐藤 伸朗	(東京都都市整備局都市基盤部長)
	相場 淳司	(東京都建設局道路建設部長)
	川野 正博	(大田区まちづくり推進部長)
	鈴木 宣男	(神奈川県政策局自治振興部長)
	奥澤 豊	(川崎市総合企画局臨海部国際戦略室担当部長)
	桑波田 一孝	(横浜市政策局政策担当部長)
	角折 知行	(UR 都市機構東日本都市再生本部事業企画部 プロジェクトマネージャー)

分科会の庶務は、国土交通省都市局と内閣官房地域活性化統合事務局が協力をして処理する。

羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会

地域産業活性化分科会（案）

1. 設置趣旨

羽田空港跡地と川崎市殿町地区における国際的な研究・商取引等を活発化する機能の導入など、主に先端医療技術とものづくり技術との医工連携の推進、国際的な研究・交流・商取引を促進するための具体策について検討する。

2. 構成員

- 座長 若井 英二（経済産業省大臣官房審議官（地域経済担当））
副座長 伊藤 明子（内閣官房地域活性化統合事務局次長）
委員 塩田 康一（内閣官房地域活性化統合事務局参事官）
木村 直人（文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課長）
城 克文（厚生労働省医政局経済課長）
神ノ田 昌博（厚生労働省医政局研究開発振興課長）
磯部 総一郎（厚生労働省大臣官房参事官（医療機器・再生医療等製品
審査管理担当））
星野 岳穂（経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業政策課長）
藤原 威一郎（観光庁参事官）
原山 正明（関東経済産業局地域経済部長）
山本 博之（東京都政策企画局国家戦略特区推進担当部長）
玉川 一二（大田区空港まちづくり担当部長）
山口 健太郎（神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進局事業統括
部長）
鈴木 毅（川崎市総合企画局理事・臨海部国際戦略室長）
本吉 究（横浜市経済局ライフイノベーション推進担当部長）

分科会の庶務は、経済産業省地域経済産業グループと内閣官房地域活性化統合事務局が協力をして処理する。

※厚生労働省の委員については、今後の協議の内容により変更の可能性あり